

7
読 む
語句の意味をとらえる(慣用句) 〔知識・技能〕
名 前

慣用句(かんようく)とは、二つ以上の単語が結び付き、全体として特別な意味を表す語句のことをいいます。これが使えるようになると表現が豊かになりますよ。

やってみよう

一 次の慣用句の意味を、下の枠内からそれぞれ一つずつ選んで記号で書きなさい。

- (1) 目もくれない
- (2) 耳が痛い
- (3) 歯がたたない
- (4) 口がすべる
- (5) さじを投げる
- (6) たかをくくる
- (7) お茶を濁す
- (8) 二の足を踏む
- (9) 腑に落ちない
- (10) 虫が知らせる

ア	弱みを指摘 <small>して</small> されてつらい。
イ	見向きもしない。
ウ	あきらめる。
エ	どうするか、ためらう。
オ	みくびる。
カ	何となく予感がする。
キ	強すぎてかなわない。
ク	納得がいけない。
ケ	うっかり言ってしまう。
コ	その場を適当にごまかす。

二 次の文中の()に合う語として最も適切なものを、問題一(1)～(10)の慣用句の中から、それぞれ一つずつ選んで書きなさい。

- (1) 勝てる試合だと思って()と、ひどい目にあつた。
- (2) 生徒は、その問題の説明が()様子であった。
- (3) 成績のことを言われると()。
- (4) 彼は、野球以外のことに()。
- (5) 記憶力では彼女に()。